

日本ろう自転車競技協会

Japan Deaf Cycling Association (JDCA)

ナショナル本部の手引き

=2014年度版=

日本ろう自転車競技協会ナショナル本部作成

2014年1月

はじめに

— いままでの国際大会日本代表選手選考とナショナル本部設立について —

2010年 8月 日本ろう自転車競技協会 設立

2011年 6月 世界ろう自転車競技選手権 (World Deaf Cycling Championships) [カナダ]

- 1) J D C Aとして初めてエントリーする国際大会。
- 2) エントリー日が迫っていたため、日本代表選手選考会を行わず J D C A 設立総会で出場表明をした男子選手 4 名をそのまま日本代表選手として派遣。

2011年10月 日本ろう自転車競技協会ナショナル本部 設立

高島良宏 J D C A 理事長を J D C A ナショナル本部長とし、J D C A 事務局 (国内) と J D C A ナショナル本部事務局 (国際) とを分ける。

2012年 6月 アジア太平洋ろう者競技大会 (Asia Pacific Deaf Games) [韓国]

- 1) 全日本ろうあ連盟スポーツ委員会との協議の上、2011年11月日本代表選手選考会を開催。
- 2) これまでの実績と 5 km タイムトライアルの成績上位者をもとに監督および J D C A ナショナル本部強化担当との協議の上、日本代表候補選手を選出。
 - (1) ロード: 男子 4 名
 - (2) ロード: 女子 2 名 ※後日女子競技は中止となる。
- 3) 大会 1 週間前に男子 1 名が怪我による日本代表選手辞退に伴い、補欠が繰り上がり昇格。

2012年10月 デフツールド台湾 (Cycling Tour de Formosa Tournament of the Deaf) [台湾]

エントリー日が差し迫っていたため全日本ろうあ連盟スポーツ委員会との協議の上、日本代表選手選考会を行わず出場表明をした男子選手 2 名をそのまま日本代表選手として派遣。

2012年12月 日本パラリンピック協会 (J P C) 2012年度加盟

J P C 規約に沿って J D C A ナショナル本部『強化登録選手/強化指定選手』制度スタート

2013年 4月 日本パラリンピック協会 (J P C) 2013年度加盟

2013年 7月 夏季デフリンピック (Deaflympics Sports) [ブルガリア]

- 1) 最初に全日本ろうあ連盟スポーツ委員会が下記の通り夏季デフリンピック日本代表選手選考基準を設定。
 - (1) 世界ろう自転車競技選手権 3 位～1 位の選手
 - (2) アジア太平洋ろう者競技大会 2 位～1 位の選手
 - (3) デフツールド台湾 3 位～1 位の選手

しかしこの選考基準だと自転車競技からの日本代表選手は 0 人となるため、J D C A ナショナル本部として全日本ろうあ連盟スポーツ委員会と話し合う。

- 2) その結果、下記の選考基準で設定。
 - (1) ロード: 日本 C S C 5 km タイムトライアルの成績上位者と 2012 年度の一般大会実績上位者をもとに男子 4 名/女子 1 名を選出
 - (2) M T B: 2012 年度 J シリーズを中心とした一般大会実績上位者をもとに男子 2 名/女子 1 名を選出
- 3) 2012 年 10 月日本代表選手選考会で日本代表候補選手を選出。
 - (1) ロード: 男子 4 名+補欠 1 名/女子 1 名
 - (2) M T B: 男子 2 名/女子 1 名

2014年 1月 日本ろう自転車競技協会ナショナル本部選考委員会 発足

全日本ろうあ連盟スポーツ委員会について

- 1) 全日本ろうあ連盟（JDF）スポーツ委員会は世界ろう連盟スポーツ委員会（ICSD）が承認する国際大会（夏季デフリンピック、世界ろう自転車競技選手権など）の窓口として日本代表選手選考基準の設定や取りまとめを行う。
- 2) ICSD承認の自転車競技国際大会は主に以下の4大会である。
 - (1) 夏季デフリンピック〔ロード／MTB〕
 - (2) 世界ろう自転車競技選手権〔ロード／MTB〕
 - (3) アジア太平洋ろう者競技大会〔ロード〕
 - (4) デフツールド台湾〔ロード〕この4大会は全日本ろうあ連盟が日本を代表して選手を派遣するという形になるため、全日本ろうあ連盟スポーツ委員会が主導して国際大会日本代表選手選考基準と各競技の派遣人数を決めている。
- 3) 2) の中でもっとも選考基準が厳しいのは夏季デフリンピックであり、その選考基準には他の国際大会の成績が反映される。

日本ろう自転車競技協会ナショナル本部

日本ろう自転車競技協会（JDCA）ナショナル本部は主に国際大会に関する業務を行う。

- 1) JDCAナショナル本部の組織
 - (1) JDCA役員会直轄としてJDCAナショナル本部を運営する。
 - (2) JDCA役員会任命によりナショナル本部長、事務局、強化担当をおく。
 - (3) JDCAナショナル本部長は、JDCAナショナル本部を統括する。
 - (4) JDCAナショナル本部事務局は国際大会に関する事務全般を担当する。
 - (5) JDCAナショナル本部強化担当は国際大会に向けて強化事業計画を組み、強化指定選手の強化を遂行する。
- 2) JDCAナショナル本部の役割
 - (1) 日本パラリンピック協会との連絡・交渉、助成金に関する申請・報告・管理など
 - (2) 全日本ろうあ連盟スポーツ委員会との連絡・交渉
 - (3) 国際大会の取りまとめ
 - (4) 選考委員会の取りまとめ
 - (5) 強化登録選手、強化指定選手、日本代表候補選手、日本代表選手の取りまとめ
 - (6) 強化合宿の取りまとめ
 - (7) その他関係団体との連絡

日本ろう自転車競技協会ナショナル本部選考委員会

2014年度よりJDCANショナル本部内に選考委員会を立ち上げ、国際大会日本代表選手の選考を行う。

団体競技の選考は監督によるところが主で、個人競技の選考は監督によるところ、監督とコーチによるところ、技術委員と監督によるところ、強化担当によるところなど競技によって異なる。個人競技の卓球やバドミントン、テニス、柔道などは1対1と勝敗がはっきりしており、選手のランキングを決めやすい。また水泳や陸上などは標準記録が設定されており、その成績順に選手のランキングが決められる。その反面、自転車競技は個人競技でありながらも集団の中での競技でもあるため、選手のランキングが決めにくい。ロード競技においては様々な形態の種目があり、また大会によって距離や競技時間が異なるため標準記録が決められないという特性がある。

そのためいままでは全日本ろうあ連盟スポーツ委員会とJDCANショナル本部で国際大会日本代表選手の選考基準についてその都度話し合ってきた。今後は強化指定選手の選考を行うことになるため、2017年・2021年のデフリンピックを見越し若手選手の育成と全国に強化指定選手を増やすことを目標として客観的かつ公平な選考を行う選考委員会を結成することになった。

今後は他競技の「全国ろうあ者体育大会」「日本聴覚障害者陸上大会」「日本ろうテニスランキング大会」など選手のランキングを決める大会と同様に「全日本ろうロードレース選手権」「全日本ろうMTB選手権」を開催することで選手のランキングを決めていく方針とする。

1) 選考委員会の設立

- (1) ナショナル本部よりJDCA会員の中から選考委員を推薦。
- (2) すべての議題は選考委員全員の承認を持って承認とする。

2) 選考委員の条件

- (1) JDCA会員であること。
- (2) 過去2年間において国際大会日本代表選手の状況を把握しており国際大会の状況について詳しい者。
- (3) 強化指定選手との兼任は不可。
- (4) 選考委員長はナショナル本部長が兼務する。

3) JDCANショナル本部選考委員会の役割

- (1) 強化指定選手選考基準および国際大会日本代表選手選考基準をJPCおよび全日本ろうあ連盟スポーツ委員会のルールに沿って設定する。
- (2) 強化指定選手選出および国際大会日本代表選手選出を行う。
- (3) JDCANショナル本部選考委員会で作成および改正した選考規約はJDCA役員会で承認を受けなければならない。
- (4) 承認を受けた選考規約はJDCA会員に掲示し、Webサイト上でも明示する。

監督およびコーチの選出

- 1) 監督およびコーチの条件や任期、経費をJDCANショナル本部より提案し、JDCA役員会での承認をもって正式決定とする。なお、その経費はJPC助成金の範囲内で決定する。
- 2) 監督およびコーチはJDCANショナル本部から推薦し、JDCA役員会での承認をもって正式決定とする。
- 3) 監督およびコーチはJDCANショナル本部選考委員会の選考委員も兼ねる。

日本パラリンピック協会に登録する『強化指定選手』について

1. JPCに対する年間スケジュール（毎年）

3月	JPCへ加盟金10万円を支払う
3月末	JPCへ強化事業計画提出および強化指定選手の登録
4～11月	強化事業計画に基づいて強化合宿などを開催
10月末	JPCへ助成金申請書提出
12月	JPCから助成金申請書承認、契約書締結
1月末以降	決算報告、助成金を各自へ支給

2. 加盟

- 1) 2012年12月にJPCへの加盟が正式に認められた。
- 2) JPC加盟金として年間10万円を支払い、助成金の申請を行なう。

3. 強化指定選手の選出

- 1) 国際大会で入賞を見込める選手を毎年強化指定選手として選出する。
- 2) JDCANационаル本部として毎年11月に次年度強化指定選手選考会を行う。
※2014年度強化指定選手選考会のみ2014年3月に開催。
- 3) JDCANационаル本部選考委員会にて選考基準を設定する。
- 4) 強化指定選手選考会で選出した選手をJPCに強化指定選手として登録する。
- 5) 当年度の国際大会日本代表選手は当年度の強化指定選手が対象となる。
ただし以下に限り年度を超えて対象とすることができる。
その場合前年度と当年度続けて強化指定選手選考会を受けることが条件となる。
 - (1) 該当する国際大会がない年度の場合
 - (2) 国際大会の日程が未定の場合
 - (3) 該当する国際大会が年度始まり後3ヶ月以内（4月～6月）に行われる場合

4. 助成金とランク

- 1) JPCの助成金は国民の税金として厚生労働省から支払われる。
- 2) 助成金の範囲で強化指定選手の強化事業計画を作成し、JPCに登録した強化指定選手に対して必要経費を支給。
- 3) 助成金のランクはJPCに登録した強化指定選手の人数とメダリストおよび入賞者の人数の割合によるポイントで上のランクに上がることができる。
JDCAの場合、4年に1度夏季デフリンピックでのメダルの色および入賞の数により決定される。
- 4) 2013年度は最低ランクのEランク（年間200万円）として助成されるが、2013年夏季デフリンピックのメダル取得により、2014年度からDランク（年間300万円）として助成される予定。
※実際に助成されるのは年度の各種報告および会計決算が完了してからとなる。

国際大会

1. 競技種目（2014年2月時点）

	ロード	MTB
夏季デフリンピック	1,000mスプリント 100kmロードレース 35kmタイムトライアル 50kmポイントレース	XCO（クロスカントリーオリンピック） ※他種目は未定
世界ろう自転車競技選手権	1,000mスプリント 100kmロードレース 35kmタイムトライアル 50kmポイントレース	XCO（クロスカントリーオリンピック） XCE（XCエリミネーター） XCT（XCタイムトライアル）
アジア太平洋ろう者競技大会	1,000mスプリント 100kmロードレース 35kmタイムトライアル 50kmポイントレース	
デフワールド台湾	ヒルクライム 100km以上のロードレース	

2. スケジュール（2014年度～2017年度）

	ロード	MTB
2014年	10月30日（木）～11月7日（金） デフワールド台湾〔台湾〕 http://deaftourdetaiwan.deafsports.org.tw/	
2015年	日程は未定 世界ろう自転車競技選手権〔ロシアorベネエズラ〕	日程は未定 世界ろう自転車競技選手権〔ロシアorベネエズラ〕
	10月3日（土）～10月11日（日） アジア太平洋ろう者競技大会〔台湾〕 http://taoyuan2015.deafsports.org.tw/	
2016年	10月～11月ごろ デフワールド台湾〔台湾〕	
2017年	7月～8月ごろ 夏季デフリンピック〔トルコ〕	7月～8月ごろ 夏季デフリンピック〔トルコ〕

※その他、世界MTB選手権がある。2013年6月にチェコで世界MTB選手権が行われたがICSD未公認。
次回大会は未定。

3. 2014年度～2015年度国際大会の流れ

1) デフワールド台湾日本代表選手選出までの流れ

- (1) 2014年2月より強化登録選手の登録。
- (2) 2014年度強化指定選手選考会（2014年3月21日～23日）で2014年度強化指定選手を決定。
- (3) 2014年3月末にJPCに2014年度強化指定選手を登録。
- (4) デフワールド台湾日本代表選手選考会（2014年7月13日）で2014年度強化指定選手の中からデフワールド台湾日本代表候補選手選出。
- (5) 2014年7月末、全日本ろうあ連盟スポーツ委員会に申込書及び各種資料を提出。
- (6) 2014年9月頃、全日本ろうあ連盟スポーツ委員会よりデフワールド台湾日本代表選手正式決定。

2) 世界ろう自転車競技選手権日本代表選手選出までの流れ

- (1) 2014年2月より強化登録選手の登録。
- (2) 2015年度強化指定選手選考会（2014年11月22日～24日）で2015年度強化指定選手を決定。
- (3) 世界ろう自転車競技選手権日本代表選手選考会で2015年度強化指定選手の中から世界ろう自転車競技選手権日本代表候補選手選出。
なお2014年1月現時点で世界ろう自転車競技選手権の日程および場所が未定のため、詳細は未定。
- (4) 世界ろう自転車競技選手権のみ、2014年度強化指定選手選考会（2014年3月21日～23日）で選出された2014年度強化指定選手も対象とする。
ただし世界ろう自転車競技選手権日本代表に選出されるためには続けて2015年度強化指定選手選考会を受けて2015年度強化指定選手とならなければならない。

3) アジア太平洋ろう者競技大会日本代表選手までの流れ

- (1) 2015年度強化指定選手選考会（2014年11月22日～24日）で2015年度強化指定選手を決定。
- (2) アジア太平洋ろう者競技大会日本代表選手選考会（2015年3月～6月予定）で日本代表候補選手選出。
- (3) 2015年6月末、全日本ろうあ連盟スポーツ委員会に申込書及び各種資料を提出。
- (4) 2015年8月頃、全日本ろうあ連盟スポーツ委員会よりアジア太平洋ろう者競技大会日本代表選手正式決定。
- (5) 現時点では2015年10月のアジア太平洋ろう者競技大会はロードのみであり、今後もしMTBが加わることになった場合は改めて規約を改正して対応することとする。

日本ろう自転車競技協会ナショナル本部 強化登録選手

1. 強化登録選手になるための条件（以下1）～3）の条件をすべて満たすこと）

- 1) J D C A会員であること。
- 2) ロード／MT Bを問わず、将来的に国際大会出場を目標としていること。
- 3) 強化登録選手申し込み時点までの過去1年間に国内・海外問わず一般の自転車競技大会（種目問わず）に1回以上出場していること。

※年齢は問わないが、U C I規約により国際大会への出場は18歳以上からとなる。

2. 強化登録選手としての手続きおよび活動

- 1) 強化登録選手の申し込みは随時受け付ける。
申込書をJ D C Aナショナル本部事務局へ提出し、J D C Aナショナル本部内で確認のうえ登録。
- 2) 強化登録選手の登録期間は当年度4月1日から翌年3月31日までとする。
- 3) J D C Aナショナル本部が開催する強化事業計画（全体強化合宿、ロード／MT B各強化合宿、練習会など）に参加できる。ただし助成金対象ではないためかかる費用は自己負担とする。
- 4) 年1回の強化指定選手選考会を受けることができる。
ただし強化指定選手選考会で強化指定選手として選出されなかった場合はそのまま強化登録選手として活動する。
- 5) 基本的に次年度継続は自動更新とする。
ただし当年度内の強化事業に参加がない場合、次年度登録は抹消する。
- 6) 登録期間内に強化登録選手を辞退する場合、J D C Aナショナル本部事務局へ連絡すること。
連絡を受け、J D C Aナショナル本部内で確認し登録を抹消する。

日本ろう自転車競技協会ナショナル本部 強化指定選手

1. 強化指定選手選考会を受けるための条件（以下1）～6）の条件をすべて満たすこと）

- 1) J D C A会員であること。
- 2) J D C Aナショナル本部強化登録選手であること。
- 3) 該当する国際大会日本代表選手を目標としていること。
- 4) 強化指定選手選考会までの1年以内にJ D C Aナショナル本部が開催する強化事業に最低1回以上参加していること。
- 5) 強化指定選手選考会までの間に国内・海外問わず一般の自転車競技大会のロードレース／X Cレースに3回以上出場していること。

なお、自転車競技大会の内容は国際大会の競技種目に準ずるものとする。また大会の内容およびエントリーについてはJ D C Aナショナル本部事務局に相談することができる。

- 6) 該当する国際大会エントリーの時点で18歳以上であること。

※2014年度強化指定選手選考のみ4) 5)に変更あり。

※J D C Aナショナル本部選考委員会が推薦する選手は、強化指定選手選考会を受けることができる。

2. 強化指定選手の選考

- 1) 強化指定選手の選考は選考枠に応じて次年度強化指定選手選考会の上位選手を強化指定選手とする。
- 2) 強化指定選手は、4つの主な自転車競技の国際大会である『夏季デフリンピック』『世界ろう自転車競技選手権』『アジア太平洋ろう者競技大会』『デフツールド台湾』において今後の強化によって入賞を見込める選手とする。
- 3) ロードおよびMTBの強化指定選手選考会を同時に受けても差し支えない。
- 4) 国際大会日本代表選手枠数が限られているため、ロードおよびMTBそれぞれ以下の出場を基本として強化指定選手選考基準を設定する

(1) ロード：4種目

- ①1,000mスプリント
- ②タイムトライアル(TT)
- ③ロードレース
- ④ポイントレース

(2) MTB：3種目

- ①XCオリンピック(XCO)
- ②XCタイムトライアル(XCTT)
- ③XCエリミネーター(XCE)

- 5) 強化指定選手はその年度に応じた国際大会に向けての強化を行う。
- 6) 次年度の助成金予算額に応じてロード／MTB、男子／女子の人数枠を決定して募集を行う。
ただしJ D C Aナショナル本部選考委員会が設定した選考基準をクリアしなければならない。
なお、次年度国際大会の内容に応じて、ロード／MTB、男子／女子のバランスを考慮してそれぞれの枠をJ D C Aナショナル本部選考委員会が調整する。

7) 選考内容と選考ポイント

(1) ロード

①5 kmタイムトライアル ②スプリント ③全日本ろうロードレース選手権 ※上記①～③のポイント合計で順位を決める。 ※選考枠の人数に応じて上位を選出する。(ただし①②の選考基準をクリアすること) ※年度によっては、②は対象にいれず①と③の合計ポイントで順位を決める場合もある。
--

①5 kmタイムトライアル

選考基準

男子	女子
10分59秒以内	12分59秒以内

日本サイクルスポーツセンター（日本CSC）のロードレース用コース（1周5 km）の標準タイムを参考とする。

標準タイム	一般選手（男子）のレベル	日本ろう自転車競技協会強化指定選手の選考タイム
8分台前半	上級の上レベル	
8分台後半	上級の中レベル	
9分台前半	上級の下レベル	
9分台後半	中級の上レベル	
10分台前半	中級の中レベル	
10分台後半	中級の下レベル	男子選考基準とする
11分台前半	初級の上レベル	
11分台後半	初級の中レベル	
12分台	初級レベル	女子選考基準とする

選考方法

- ・日本CSCのロードレース用コース（5 km）にJ D C A ナショナル本部選考委員会から審判員（記録員）を配置し1周のタイムを計測。
- ・一定間隔をおいて1人ずつスタートし、5 kmコースを1周する。
- ・ウォーミングアップや試走は各自自由とする。
- ・2回計測し、そのうちの最もよいタイムを採用する。
- ・落車や怪我、メカニクトラブル（パンク、破損など）などによるやり直しは不可。
- ・走行順は審判員（記録員）により決定する。
- ・計測時は審判員（記録員）による裁定に従うこと。
- ・選考基準をクリアした選手の順位に応じてポイントを付与する。

②スプリント

選考基準

男子	女子
14秒以内	16秒以内

選考方法

- ・ J D C A ナショナル本部選考委員会から審判員（記録員）を配置し 200m のタイムを計測。
- ・ 助走区間は約 50m とする。
- ・ 一定間隔をおいて 1 人ずつスタートする。
- ・ ウォーミングアップや試走は各自自由とする。
- ・ 2 回計測し、そのうちの最もよいタイムを採用する。
- ・ 落車や怪我、メカニクトラブル（パンク、破損など）などによるやり直しは不可。
- ・ 走行順は審判員（記録員）により決定する。
- ・ 計測時は審判員（記録員）による裁定に従うこと。
- ・ 選考基準をクリアした選手の順位に応じてポイントを付与する。

③全日本ろうロードレース選手権

- ・ 以下のいずれかの方法で開催する。

国内のロードレース内に併設	J D C A ナショナル本部が主催
J D C A ナショナル本部選考委員会が大会とクラスを指定する。	会場によってコースや距離、周回数を J D C A ナショナル本部選考委員会で決定する。

- ・ 強化指定選手選考を受ける強化登録選手全員で同時にレース開始とする。
- ・ ウォーミングアップや試走は各自自由とする。
- ・ ゴール順に順位を決定する。この順位は強化指定選手選考を受ける選手内での順位とし、順位に応じてポイントを付与する。
- ・ 落車や怪我、メカニクトラブル（パンク、破損など）などによる D N F はポイントを付与しない。

選考ポイント表

		1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	6 位	7 位	8 位	9 位	10 位
①	5 k m タイムトライアル	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
②	スプリント	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
③	全日本ろう ロードレース選手権	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1

※ 1 1 位以降および D N F は 0 ポイント

(2) MTB

①XCタイムトライアル
 ②全日本ろうMTB選手権
 ※上記①～②のポイント合計で順位を決める。
 ※選考枠の人数に応じて上位を選出する。(ただし①の選考基準をクリアすること)

①XCタイムトライアル

選考基準

XCコースは自然の道を使用するため、天候や路面の状況などに大きく左右される。よって標準タイムは設定せず、以下のように定めることとする。

トップのタイム+80%のタイム以内
 (=トップのタイム×1.8倍のタイム以内)

選考方法

- ・日本サイクルスポーツセンター(日本CSC)のXCコース(1周約3km)にJDCAナショナル本部選考委員会から審判員(記録員)を配置し、1周のタイムを計測する。
- ・一定間隔をおいて1人ずつスタートする。
- ・ウォーミングアップや試走は各自自由とする。
- ・2回計測し、そのうちの最もよいタイムを採用する。
- ・落車や怪我、メカニックトラブル(パンク、破損など)などによるやり直しは不可。
- ・走行順は審判員(記録員)により決定する。
- ・計測時は審判員(記録員)による裁定に従うこと。
- ・選考基準をクリアした選手の順位に応じてポイントを付与する。

②全日本ろうMTB選手権

- ・以下のいずれかの方法で開催する。

国内のXCレース内に併設	JDCAナショナル本部が主催
JDCAナショナル本部選考委員会が大会とクラスを指定する。	会場によってコースや距離、周回数をJDCAナショナル本部選考委員会で決定する。

- ・国内のXCレース内に併設する場合、強化指定選手選考を受ける強化登録選手全員で同じクラスに入り同時にレース開始とする。ただしクラス分けがされている日本マウンテンバイク協会主催のジャパンシリーズ各大会やジャパンシリーズのクラス分けが適用されている市民大会においては、全クラスを合わせて上から順位を決める。例えばエリートクラス3名、エキスパートクラス3名、スポーツクラス3名の場合、エリートクラス内で1～3位、エキスパートクラス内で4位～6位、スポーツクラス内で7位～9位の順位を決定する。
- ・ウォーミングアップや試走は各自自由とする。
- ・ゴール順に順位を決定する。この順位は強化指定選手選考を受ける選手内での順位とし、順位に応じてポイントを付与する。
- ・落車や怪我、メカニックトラブル(パンク、破損など)などによるやり直しは不可。

選考ポイント表

		1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
①	XC タイムトライアル	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
②	全日本ろう MTB選手権	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1

※11位以降およびDNFは0ポイント

3. 強化指定選手としての手続きおよび活動

- 1) 強化指定選手選考会で選出した強化指定選手は次年度強化指定選手としてJPCに登録。
- 2) 強化指定選手の登録期間は当年度4月1日から翌年3月31日までとする。
- 3) 強化指定選手としてJDCAのWebサイトなどで公開する。
- 4) 強化指定選手は、JDCAナショナル本部が開催する全ての強化事業に参加することができる。
- 5) 強化指定選手は、基本的には全体強化合宿にすべて参加とする。ただしやむを得ない事情による欠席の場合、JDCAナショナル本部事務局へ連絡のうえ、JDCAナショナル本部選考委員会で受理して決定する。
- 6) 強化事業に参加する際の必要経費はJPC助成金の対象となる。
- 7) 強化事業およびレースに参加した際のレポート提出および領収書を管理すること。
- 8) 年度内に3回以上、ロードとMTBの強化指定選手はそれぞれロードレース、XCレースに出場すること。
- 9) 該当する国際大会日本代表選手選考会を受けることができる。
ただし国際大会日本代表選手選考会で国際大会日本代表候補選手として選出されなかった場合はそのまま強化指定選手として活動する。
- 10) 次年度強化指定選手を希望する場合、次年度強化指定選手選考会を受けること。
- 11) JPCへ登録後、年度内に強化登録選手を辞退する場合、JDCAナショナル本部事務局へ連絡すること。
JDCAナショナル本部選考委員会で受理を検討して決定する。またこの場合、強化指定選手の追加は国際大会の状況に応じて次点の選手の繰り上がりもしくは追加選考会を行なう。
- 12) 通常から自転車普及活動にも積極的につとめること。

日本ろう自転車競技協会ナショナル本部 国際大会日本代表選手

1. 国際大会日本代表選手選考会を受けるための条件

以下1)～3)の条件をすべて満たすこと。

- 1) J D C A会員であること。
- 2) J D C Aナショナル本部当年度強化指定選手であること。
- 3) 全日本ろうあ連盟当年度の会員であること。

ただし夏季デフリンピックのみ前年度から会員であること。

なお2回以上続けて夏季デフリンピック日本代表選手の場合、継続して会員であること。

※J D C Aナショナル本部選考委員会が推薦する選手は、国際大会日本代表選手選考会を受けることができる。

ただしその選手は当年度の助成金の対象とはならない。

2. 国際大会日本代表選手の選考

- 1) 各国際大会の日程に合わせて国際大会日本代表選手選考会を開催する。
- 2) 国際大会日本代表選手は、4つの主な自転車競技の国際大会である『夏季デフリンピック』『世界ろう自転車競技選手権』『アジア太平洋ろう者競技大会』『デフツールド台湾』において入賞を見込める選手とする。
- 3) 各国際大会に応じて全日本ろうあ連盟スポーツ委員会より国際大会日本代表選手枠数が指定される。
- 4) 『夏季デフリンピック』『世界ろう自転車競技選手権』に限り、指定された国際大会日本代表選手枠の範囲でロード/MTB、男子/女子それぞれの枠をJ D C Aナショナル本部選考委員会が決定する。
- 5) 各国際大会日本代表枠数が限られているため、ロードおよびMTBそれぞれ以下の出場を基本として国際大会日本代表選手を選出する

ロード：4種目	MTB：3種目
①1,000mスプリント	①XCO
②タイムトライアル(TT)	②XCT
③ロードレース	③XCE
④ポイントレース	

- 6) 国際大会日本代表選手選考基準は全日本ろうあ連盟スポーツ委員会が決定する。

J D C Aナショナル本部としてその選考基準に沿って国際大会日本代表選手選考会を行い、国際大会日本代表候補選手を選出する。

- 7) 全日本ろうあ連盟スポーツ委員会により正式に国際大会日本代表選手を決定する。

8) 選考内容

(1) ロード

- ①該当国際大会と同じ種目(6ページ参照)で選考会を行う。

どの種目を対象とするかはナショナル本部選考委員会により決定して発表とする。

ただし国内では同じ形態の大会はほとんど開催されないため、その種目と同系統の種目を対象とする。

- ②選考ポイント総合で順位を決定する。

- ③これをもとにJ D C Aナショナル本部選考委員会として国際大会日本代表候補選手を選出する。

(2) MTB

- ①該当国際大会と同じ種目(6ページ参照)で選考会を行う。

ただし国内ではXCTTおよびXCEの大会はほとんど開催されないため状況によって、XCOのみとなる。

- ②選考ポイント総合で順位を決定する。

- ③総合ポイントの上位から国際大会日本代表候補選手として選出する。

3. 国際大会日本代表選手としての手続きおよび活動

- 1) 国際大会日本代表選手の登録期間は全日本ろうあ連盟スポーツ委員会による国際大会日本代表選手正式決定日から該当国際大会終了後の事務処理が完了するまでとする。
- 2) 国際大会日本代表選手としてJ D C AのW e bサイトなどで公開する。
- 3) J D C Aナショナル本部が開催する強化事業には基本的に全て参加しなければならない。
ただしやむを得ない事情による欠席の場合、J D C Aナショナル本部事務局へ連絡のうえ、J D C Aナショナル本部選考委員会で受理を検討して決定する。
- 4) 強化事業に参加する際の必要経費はJ P C助成金の対象となる。
- 5) 強化事業に参加した際のレポート提出および領収書を管理すること。
- 6) 国際大会に出場した際のレポートを提出すること。
- 7) 国際大会日本代表決定後に国際大会日本代表選手を辞退する場合、J D C Aナショナル本部事務局へ連絡すること。全日本ろうあ連盟に相談のうえ、受理を決定する。
その際に国際大会より要求されるペナルティーなどが科せられる場合がある。
また国際大会の状況に応じて次点の選手の繰り上がりもしくは追加選考会を行なうこともある。
- 8) 通常から自転車普及活動にも積極的につとめること。

強化事業

1. 全体強化合宿

- 1) J D C A ナショナル本部強化担当が年間の強化事業計画に沿って全体強化合宿を設定する。
- 2) 強化登録選手，強化指定選手（国際大会日本代表候補選手／日本代表選手含む）が参加できる。
- 3) 強化指定選手は，全体強化合宿にすべて参加すること。
- 4) 合宿参加費は宿泊費，食費，事務手数料とする。
 - (1) 強化登録選手：全額自己負担
 - (2) 強化指定選手：全額立替払い，後日 J P C より一部助成あり（3月合宿のみ対象外）
- 5) 2014年度の予定
 - (1) 2014年 6月21日（土）～22日（日）長野県（予定）
 - (2) 2014年 8月23日（土）～24日（日）未定
 - (3) 2014年11月22日（土）～24日（月）日本CSC（予定）
 - (4) 2015年 3月21日（土）～22日（日）日本CSC（予定）※助成対象外

2. ロード強化合宿

- 1) J D C A ナショナル本部強化担当が年間の強化事業計画に沿ってロード強化合宿を設定する。
- 2) J D C A ナショナル本部で指定する国内・海外レースを組み込んだ合宿形式とする。
- 3) 強化登録選手，強化指定選手（国際大会日本代表候補選手／日本代表選手含む）が参加できる。
- 4) 強化指定選手をめざす強化登録選手は，選考規約に則り最低1回以上は参加すること。
- 5) 国際大会日本代表選手をめざす強化指定選手は，各選考規約に則って調整して参加すること。
- 6) 合宿参加費は宿泊費，食費，事務手数料とする。
 - (1) 強化登録選手：全額自己負担
 - (2) 強化指定選手：全額立替払い，後日 J P C より一部助成あり
- 7) 2014年度の予定
レースの日程が公開された上で3月に発表予定。

3. M T B 強化合宿

- 1) J D C A ナショナル本部強化担当が年間の強化事業計画に沿ってM T B 強化合宿を設定する。
- 2) J D C A ナショナル本部で指定する国内・海外レースを組み込んだ合宿形式とする。
- 3) 強化登録選手，強化指定選手（国際大会日本代表候補選手／日本代表選手含む）が参加できる。
- 4) 強化指定選手をめざす強化登録選手は，選考規約に則り最低1回以上は参加すること。
- 5) 国際大会日本代表選手をめざす強化指定選手は，各選考規約に則って調整して参加すること。
- 6) 合宿参加費は宿泊費，食費，事務手数料とする。
 - (1) 強化登録選手：全額自己負担
 - (2) 強化指定選手：全額立替払い，後日 J P C より一部助成あり
- 7) 2014年度の予定
レースの日程が公開された上で3月に発表予定。

2014年度強化指定選手選考会

2014年度のみ選考会の内容は選考規約と少し異なります。

1. ロード

- 1) 日程：2014年3月22日（土）～23日（日）
- 2) 場所：日本サイクルスポーツセンター（日本CSC）
- 3) 募集：男女合計6枠（MTB男女4枠を合わせて10枠内）
- 4) 条件（以下の条件をすべて満たしていること）
 - (1) JDCA強化登録選手として登録していること。
 - (2) 2014年デフツールド台湾もしくは2015年世界ろう自転車競技選手権を目標としていること。
 - (3) 過去1年内（2013年4月1日～2014年3月20日まで）に国内・海外問わず一般の自転車競技大会のロードレースに1回以上出場していること。
- 5) 選考内容
 - ①5kmタイムトライアル：3月22日（土）
 - ②全日本ろうロードレース選手権：3月23日（日）

選考方法

 - ・①は選考規約どおりとする。
 - ・③は3月23日（日）に開催される『JCRCシリーズ第2戦in日本CSC』Zクラスに併設して行う。よって、各自でJCRCに登録後『JCRCシリーズ第2戦in日本CSC』Zクラスにエントリーすること。
(<http://www.jcrc-net.jp/>)

2. MTB

- 1) 日程：2014年3月21日（金）～22日（土）
- 2) 場所：日本サイクルスポーツセンター（日本CSC）
- 3) 募集：男女合計4枠（ロード男女6枠を合わせて10枠内）
- 4) 条件（以下の条件をすべて満たしていること）
 - (1) JDCA強化登録選手として登録していること。
 - (2) 世界ろう自転車競技選手権を目標としていること。
 - (3) 過去1年内（2013年4月1日～2014年3月20日まで）に国内・海外問わず一般の自転車競技大会のXCレースに1回以上出場していること。
- 5) 選考内容
 - ①XCタイムトライアル：3月21日（金）
 - ②全日本ろうMTB選手権：3月22日（土）

選考方法

 - ・①は選考規約どおりとする。
 - ・②は3月22日（土）に開催される『CSC Classic』XCレースに併設して行う。よって、各自で『CSC Classic』XCレースの各クラスにエントリーすること。
(<http://hasshiy288.wix.com/cscclassic#>)

2015年度強化指定選手選考会

1. ロード

- 1) 日程：2014年11月22日（土）～24日（月）
- 2) 場所：日本サイクルスポーツセンター（日本CSC）
- 3) 募集：枠は未定
- 4) 条件（以下の条件をすべて満たしていること）
 - (1) J D C A強化登録選手として登録していること
 - (2) 2014年4月1日～2014年10月31日までの間に国内・海外問わず一般の自転車競技大会のロードレースに3回以上出場していること。
 - (3) 2014年度強化合宿に1回以上参加していること

5) 選考内容

- ①5kmタイムトライアル
- ②スプリント
- ③全日本ろうロードレース選手権

選考方法

- ・①②は選考規約どおりとする。
- ・③は7月13日（日）に開催される『JCRCシリーズ第6戦in群馬CSC』Zクラスに併設して行う。よって、各自で『JCRCシリーズ第6戦in群馬CSC』Zクラスにエントリーすること。
(<http://www.jcrc-net.jp/>)

2. MTB

- 1) 日程：2014年11月22日（土）～24日（月）
- 2) 場所：日本サイクルスポーツセンター（日本CSC）予定
- 3) 募集：枠は未定
- 4) 条件（以下の条件をすべて満たしていること）
 - (1) J D C A強化登録選手として登録していること。
 - (2) 2014年4月1日～2014年10月31日までの間に国内・海外問わず一般の自転車競技大会のXCレースに3回以上出場していること。
 - (3) 2014年度強化合宿に1回以上参加していること。

5) 選考内容

- ①XCタイムトライアル
- ②全日本ろうMTB選手権

選考方法

- ・①は選考規約どおりとする。
- ・②は7月19日（土）～20日（日）に開催される『第27回全日本選手権大会 XC O』エリートクラスに併設して行う。よって、各自で『第27回全日本選手権大会 XC O』エリートクラスにエントリーすること。
(<http://www.japan-mtb.org>)

2014年度～2015年度国際大会日本代表選手選考会

1. 2014年度強化指定選手

デフツールド台湾 日本代表選手選考会

- 1) 日程：2014年7月13日（日）
- 2) 場所：群馬サイクルスポーツセンター（群馬CSC）
- 3) 日本代表選手枠：ロード男子3名／女子1名
- 4) 条件（以下の条件をすべて満たしていること）
 - (1) JDCA 2014年度強化指定選手であること。
 - (2) 全日本ろうあ連盟2014年度会員であること。

※JDCAナショナル本部選考委員会が特別に認めた選手はデフツールド台湾日本代表選手選考会を受けることができる。

5) 選考内容：全日本ろうロードレース選手権

選考方法

- ・全日本ろうロードレース選手権は7月13日（日）に開催される『JCRCシリーズ第6戦in群馬CSC』Zクラスに併設して行う。よって各自で『JCRCシリーズ第6戦in群馬CSC』Zクラスにエントリーすること。（<http://www.jcrc-net.jp/>）
- ・上位順にデフツールド台湾日本代表候補選手として選出するが、トップの選手から周回遅れは順位対象外とする。

6) 事務処理

- (1) 2014年7月ごろ全日本ろうあ連盟スポーツ委員会にエントリーおよび各種資料を提出。
- (2) 全日本ろうあ連盟スポーツ委員会より正式にデフツールド台湾日本代表選手決定。

2. 2015年度強化指定選手

世界ろう自転車競技選手権 日本代表選手選考会

2014年1月31日時点で世界ろう自転車競技選手権の開催国および日程が未定のため、日本代表選手選考会の概要は未定。

アジア太平洋ろう者競技大会 日本代表選手選考会（予定）

- 1) 日程：2015年3月～7月予定
- 2) 場所：未定
- 3) 日本代表選手枠：ロード男子4名／女子2名
- 4) 条件（以下の条件をすべて満たしていること）
 - (1) JDCA 2015年度強化指定選手であること。
 - (2) 全日本ろうあ連盟2015年度会員になること。

5) 選考内容（4種目内で対象種目を決定する予定）

- ①タイムトライアル
- ②スプリント
- ③ロードレース
- ④クリテウム

6) 事務処理

- (1) 2015年7月ごろ全日本ろうあ連盟スポーツ委員会にエントリーおよび各種資料を提出。
- (2) 全日本ろうあ連盟スポーツ委員会より正式にアジア太平洋ろう者競技大会日本代表選手決定。